



インスピレーションになるう

2018-2019 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2019年3月号



『「水と衛生月間」と「世界ローターアクト週間」』

国際ロータリー第2710地区
2018-19年度 ガバナー

吉原 久司

GOVERNOR:
Hisashi Yoshihara

3月22日は「世界水の日」です。安全な水と衛生設備の利用は、すべての人が持つべき権利。なのに、汚染水で病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません。未来を担うはずの子供たちは、水汲みなどの労働によって学校に通えず、つらい環境を強いられています。(私たちの活動は、井戸を掘るだけではありません。安全な水と衛生設備を提供した上で、衛生や伝染病予防に関する教育を行うことで、コミュニティ全体の生活を改善(完全)し、子供の通学率を高めていこうとしています。)

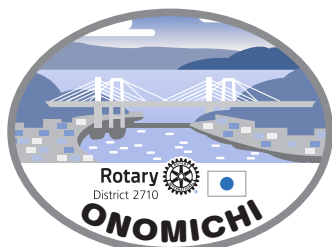
2018年の世界では、8億4,400万人が清潔な飲料水を得ることが出来ません。世界のどの国においても、清潔な水を利用できないのは最貧困層や弱い立場にいる人々、つまり農村部に住む人、高齢者、障害のある人や、カースト・人種・宗教などによって差別を受けている人々です。女性は、30分離れた水源へ水を汲みに行くために、年間2か月半もの時間を費やしていることになります。又、不衛生な水や衛生設備の不備、不十分な衛生習慣が原因で、毎年5歳以下の子供約289,000人が命を落としています。

思い起こしてみてください。私たちロータリークラブが最初に取り組んだ社会奉仕事業はシカゴロータリークラブが取り組んだ公衆トイレの設置でした。我々ロータリアンは、今後も世界各地で地域に根ざした活動を行い、全ての人がきれいな水を飲めるように改善に取り組んで下さい。来年度から2か年間、地区補助金特別プログラムの中に「水プロジェクト」を設置します。ぜひロータリー財団担当委員に声をかけてみてください。

また、RI理事会は1993年ローターアクト創立25周年を記念して、3月13日を含む1週間を「世界ローターアクト週間」として祝うことを奨励しています。当地区でも1970年に最初のローターアクトクラブが創立され、49周年になろうとしています。しかし最近ではややもするとロータリークラブとローターアクトクラブの関係が希薄なものとなりつつあります。そこで今年度は皆様にお頼みして枯渇している国際親善費用への援助にワンコイン寄付をお願いすると共に、提唱クラブ以外のロータリアンにもその存在を知ってもらうために公式訪問の時にお話をさせて頂きました。今後ともローターアクトクラブの存在を心に留めておいて頂きますようお願いいたします。

【目次】

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| ● ガバナーメッセージ.....P1 | ● ガバナー予定者決定のお知らせ.....P5 |
| ● 水と衛生月間よせて～世界の水事情～.....P2 | ● 次年度地区大会PR.....P6 |
| ● 国際会議へ参加して.....P3 | ● 会員増減・出席率(1月度).....P7 |
| ● 日韓親善インターアクト歓迎式報告.....P4 | ● 特別コラム.....P7 |
| ● 第11期RLI/パート報告書.....P5 | ● 新会員・物故会員紹介 (奥付).....P8 |





水と衛生月間によせて～世界の水事情～

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 パストガバナー 東 良輝 (宇部西RC)

昨年の暮れ、皇太子さまが誕生日を迎えられるあたり、国民へ寄せられたお言葉の中に30年3月19日ブラジルで開催された「第8回世界水フォーラム」に出席された様子を述べられておられました。その時「地球上のすべての国の水事情が改善されて初めて平和が訪れる」旨のことを述べられました。些か正確さに自信はありませんが、早速宮内庁からの資料を調べてみましたところ、基調講演の内容が書かれていました。「国と地域繁栄の礎としての水」「経済と社会の発展のための水」「水を分かち合う」「地域全体の繁栄に果たす水の役割」「気候変動と水災害」「水を人々の繁栄・平和・幸福のために」等に関して丁寧に分かりやすく述べておられ、感動いたしました。

皆様は海外旅行の際、飲料水に関して不自由を感じたことが多々あったのではないかと思います。私事で申し訳ありませんが、数年前、仲間と一緒に中東のある国に旅行した時のことです。水事情は良いほうではなく、飲料水、水には気を付けるように十分に注意は受けていましたが、仲間のほぼ全員が下痢に苦しめられました。その原因は野菜を洗った水にあったと後で分かりました。現地製造のペットボトルも安心できません。

日本ではさほど問題として認識していないことが、世界に目を向けますと深刻な問題として浮かび上がってきます。

いま、世界で水道水が飲める国は日本を初め、わずか15か国に過ぎません。このことから、安全な水を確保することが如何に大事で、大変難しいことかが推察できます。

3月22日は「世界水の日」です。ロータリーでは特別月間として3月を「水と衛生」月間と定めています。地球には大量の水を蓄えていますが、その97%は海水です。残る3%の内2%は極地の氷河ですので、結局、人が使用できる量は1%に過ぎません。その水を世界の全人口で分けることになります。人口が増えれば当然、深刻な水不足になることは免れません。また、最近の問題として気候変動も挙げられます。

現在、既に約30か国が水不足に悩んでおり、約12億人は不衛生な水環境で暮らしております。開発途上国における病気の80%は汚染水が原因と言われています。また、人口の増加は水不足を助長し、食料生産に支障をきたし、それが労働力の低下を招き、開発に大きな障害となります。結局、紛争へと繋がっていき、世界平和への道は益々遠ざかってしまいます。永遠の世界の平和をうたっているロータリーとしては水問題は避けては通れません。

汚染された水は子供たちの命を奪うだけでなく、さらに深刻なのは水を確保するため、多くの子供たちが水汲みに使われている現実です。それが子供たちの教育の機会を奪っているのです。そのため、私たちロータリアンは世界での水事情を正確に把握し、水不足、汚染された水が世界の子供たちに深刻な状態をひき起こしている事実を遠い国のことと捉えず、地球全体の問題として捉え、今、私たちに何が出来るのか、どのような方法が考えられるかを真摯に検討してゆく必要があると考えます。



国際協議会へ参加して

国際ロータリー第2710地区 ガバナーエレクト 晝田 眞三



サンディエゴ直行組は1月13日15時成田空港集合にて17:05発のJAL便で出発しました。サンディエゴ空港は高層ビルの間を抜けていくような、ダウンタウンに近い、便利な空港です。米国の主要空港に比較するとコンパクトな日本という関西空港くらいの規模感ですので小生にとっては心地よいものでした。入国の際もスムーズで間違えようがないくらい出口は小さく、ロータリアンの歓迎を受けました。

バスでホテル到着時には、ホテル入口にて石黒・三木RI理事ご夫妻はじめ研修リーダーご夫妻などのお迎えを受け一人一人握手していただきました。

その後、ロスアンゼルス経由組と合流し、日本人ロータリアン・夫人での歓迎式典が行われました。ホテル隣接のレストランにて昼食後、登録キット受領、チェックインとなりました。

夕食はほぼ全員揃っていますので、ホテル宴会場にてbuffet形式で流れ生産方式です。同じ料理の列が6列にカレー料理の列が一行、来た順番にエリアを指定され、ばらけないようにサービスが集中できる配置にします。ただ昼・夜ともソースが違うだけのサーモン・チキンブレスト・ステーキが続くのには驚きました。同期に老舗割烹のご主人もおられましたので辛かったものと思います。

サンディエゴはご承知の通り、カリフォルニア州でも最南部に位置し、メキシコ国境は直ぐです。最近のトランプ政権では不法移民は厳しく規制されている訳ですが、カリフォルニアは歴史的にもメキシコ戦争によりメキシコから米国に割譲された場所ですので人種的にもヒスパニックは多く、ホテル社員間の会話もスペイン語が多いようです。

月曜日朝、バリー・ラシン現会長から紹介されたマーク・マローニー会長エレクトの基調講演から

スタートしました。最大のポイントと思われるのは、2016年規定審議会の結論による“クラブの柔軟性”から各クラブは規則の範囲で独自に例会回数・会員資格等を決定できるので、クラブはその権限を十分に生かし、会員基盤を強化し、将来とも安泰なクラブづくりをしてほしいということです。

「変化を恐れるな、変化しない理由は幾らでも挙げられる、変化に反対する抵抗勢力は常に存在するが、それが将来を安泰にするものではなく、変化による混乱が起きたとしても収まるときが来る」というなかなか厳しいものです。

今回の国際協議会で初めてローターアクターが途中から参加し、17-18名での分科会討論にも加わり、積極的に発言しました。ここでは彼らも立派な主張を持っていることをロータリー歴20年以上の日本人老ロータリアンも認識すべしとのことでした。

これはクラブ細則によってはローターアクターもロータリアンになれることを体で認識させるプログラムだと感じます。我々2710地区では強い反発がありますが、若い世代を会員に取り込む手段を真剣に考える時が来ているとも言えます。

追々、PETSを皮切りに皆様にはお話しさせていただきたいと思います。

最後に、昨年12月21日、吉原ガバナーのご配慮により、諮問委員会に先立ち、尾道市・良(うしろ)神社にて国際協議会での無事とガバナー年度の無事を祈願しました。例年の行事のようですが関係者しか知らない世界だったため、有り難く、引き締まる思いでした。

安保代表幹事には尾道の細い道をこすることなく運転いただきました。

吉原ガバナーご夫妻はじめ関係の皆様には改めてお礼申し上げます。



日韓親善インターアクト歓迎式報告

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 インターアクト委員長 村上 博志

去る1月19日、晴天の下、日韓親善インターアクト歓迎式がホテルグランヴィア広島で開催されました。ホスト校修道高等学校の山根君の司会進行によりスムーズに会が運営されました。開会の3時間前より集合し、リハーサルを何度も繰り返した練習のたまものでした。



吉原ガバナーより日韓インターアクト交流の目的は、お互いの奉仕活動の情報交換と異文化の理解を通じて将来のリーダーとなるスキルを学び、インターアクターが持続可能な良い変化を生むために、手を取り合って行動する世界を目指していることを理解してもらうように努めましょう、と力強いご挨拶をいただきました。

RI3690地区 李相逢総裁より青少年交換訪問を通じて、両国間の様々な歴史と文化体験により、お互いに心を開いて、お互いの慣習と文化を尊重し配慮し、楽しい時間を共に過ごしてよい友人になりましょうとの祝辞を頂戴しました。相互のインターアクト委員長、インターアクター代表からも心温まる挨拶をいただきました。

点鐘により
閉会宣言がな
され、いよいよ
ホームステイの
ペアリングが発



表され、日本と韓国の生徒はお互いを確認し、握手やハグをして親しくなっていました。この後記念撮影を行い、ホストファミリーの保護者の皆様と各家庭へと向かいました。

この後は2018-19年度日韓親善インターアクト懇親会が場所を21階の曙光に移し、吉原ガバナーをはじめ、日韓のロータリー関係者と通訳を交えて開催されました。まず、2017-18年度インター

アクト委員長 都志見 格様のご逝去に全員でご冥福を祈り、黙祷を捧げました。金子パストガバナーに乾杯のご挨拶をいただき、賑やかに会は進みました。今回は元米山奨学生をはじめとした広島大学院生等、通訳の方が7名もいらしたおかげで会話もスムーズに進み楽しい懇親会になりました。プレゼント交換も終わり、閉会後も二次会に繰り出し、親交を深めることが出来ました。

翌日20日の集合時間である午前11時の30分前からホームステイした生徒とホストファミリーが次々に集合してきました。わずかな滞在時間だったにもかかわらず、一夜で友情を深め、別れを惜しむ姿があちこちで見られました。彼らの表情を見ると大人の世界ではない純粋な交流が生まれていると感じました。

当初予定の35名の受け入れが25名に減少はしましたが、ホームステイ受入家庭が14軒と少なかったため、緊急措置として広島サンプラザに韓国と日本の生徒が11名ずつ合宿状態で宿泊することとなりました。ホスト校の上田先生とホストクラブの広島南RC佐古インターアクト委員長にも同泊していただき、なんとか無事に終わることが出来ました。本来ならば全員がホームステイをすることが前提の事業ですが、受入家庭が減少している現実を真摯に受け止め、今後の事業継続を考えなければならないと思います。

最後に、この事業に関わってくださった広島県内インターアクト顧問教師の皆様、ホストファミリーの皆様、広島南RCの皆様に衷心より御礼申し上げます。ありがとうございました。





第11期RLIパートI報告書

RLI-2710地区代表委員 パストガバナー 沖田 哲義

開催日時 平成31年1月27日(日)
AM10:00 ~ PM5:00

開催場所 広島YMCA国際文化センター

出席者 登録者=80名
当日出席者=79名
関係者=26名

内 容 分科会①「ロータリーにおけるリーダーシップ」
分科会②「私のロータリー世界」
分科会③「会員の参加を促す」
分科会④「R財団 I 私たちの財団」
分科会⑤「倫理と職業奉仕」
分科会⑥「奉仕プロジェクトを創造する」

感 想

第11期からは、参加者に対して、RLI参加者テキスト(以下「テキスト」といいます。)を事前配布することになりました。これに加え、私が編集作成した「副読本(資料集)」(以下「副読本」といいます。)も事前配布しました。この副読本は、参加者へ事前学習(予習)を促し、参加者のロータリーに対する基礎的知識を事前に平準化しておこうというものです。これにより、参加者間のディスカッションがスムーズに行われることを願ったのです。また、テキストを配布した理由もほぼ同じ理由ですが、特に、ディスカッションリーダーとの間のディスカッションをスムーズに行うことを目的としました。しかし、これらの目的は、殆ど達成されなかったのではないかと思います。特に、私の作成した副読本は、殆ど読まれていないようです。

国際ロータリー第2710地区2021-22年度 ガバナー予定者決定のお知らせ



広島西南ロータリークラブ

すぎかわ さとし
杉川 聡

2019年1月8日、当地区ガバナー指名委員会は、国際ロータリー細則第14条14.020により2021-22年度ガバナー候補者として杉川 聡氏(広島西南RC)を推薦し、その旨細則第14条14.020.6により地区内会員に公表致しました。

その後、2週間の期限までに対抗候補者の推薦がございませんでしたので、細則第14条14.020.10により杉川 聡氏を国際ロータリー第2710地区2021-22年度ガバナー予定者として決定致しましたことをご通知申し上げます。

2021-22年度ガバナー予定者 略歴

- ◆所属クラブ/広島西南ロータリークラブ
- ◆生年月日/1957年10月8日
- ◆職業分類/ビルメンテナンス業
- ◆学歴/慶応義塾大学商学部卒業、広島大学大学院経済学博士課程前期修了
- ◆職歴/
 - 1980年 4月 広島信用金庫入庫
 - 1980年 10月 (株)第一ビルサービス入社
 - 1985年 6月~現在 (株)第一ビルサービス社長
- ◆主職/
 - 2001年 5月~現在 (公社)広島西法人会常任理事
 - 2009年 4月~現在 広島経済同友会常任幹事
 - 2013年 5月~現在 (公社)広島ビルメンテナンス協会会長
 - 2017年 7月~現在 (公社)全国ビルメンテナンス協会中国地区副本部長
- ◆ロータリー歴/
 - 1997年10月7日 広島西南ロータリークラブ入会
 - 2006-07年度並びに2013-14年度 広島西南ロータリークラブ幹事
 - 2015-16年度 広島西南ロータリークラブ会長
 - ベネファクター
 - マルチブル・ポール・ハリス・フェロー (2回)
 - 第2回マルチブル米山功労者



2019-2020 国際ロータリー第2710地区

地区大会in福山

2019.10.25[金]・26[土]・27[日]

Rotary
District 2710



国際ロータリー第2710地区
2019年-20年度ガバナー

書田 眞三

ホストクラブ 福山ロータリークラブ

- 1日目 10月25日[金] 記念ゴルフ大会【松永カントリークラブ】
2日目 10月26日[土] 大会諸委員会/歓迎昼食会/会長幹事会/基調講演/
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会/日韓交流パーティー【福山ニューキャッスルホテル】
3日目 10月27日[日] 本会議/記念講演会「歴史作家 加来耕三氏」【ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ】
大懇親会【福山ニューキャッスルホテル】



歴史作家 加来耕三氏



国宝・明王院



福山城



景勝 鞆の浦



国際ロータリー第2710地区 2018-19年度会員増減・出席率(2019年1月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初	当月		本年度	
			7/1	末日	内女性	入会	退会
1	長門	93.37	22	25	4	3	0
	下関	71.72	44	47	1	4	1
	下関中央	74.70	34	34	6	0	0
	下関東	75.99	56	59	3	4	1
	下関北	87.61	43	42	0	0	1
	下関西	80.35	33	36	1	5	2
	計	80.62	232	243	15	16	5
2	萩	95.94	54	52	0	1	3
	萩東	100.00	24	25	1	1	0
	美祢	80.77	22	24	1	3	1
	小野田	84.28	35	39	3	4	0
	宇部	89.63	46	46	3	0	0
	宇部東	68.12	13	13	2	1	1
	宇部西	89.72	51	52	3	1	0
	計	86.92	245	251	13	11	5
3	防府	91.93	59	65	2	6	0
	防府北	87.68	19	22	1	4	1
	防府南	87.44	34	38	6	4	0
	山口	87.57	46	49	4	4	1
	山口市中央	90.17	29	31	1	3	1
	山口市南	90.61	41	43	5	3	1
	計	89.23	228	248	19	24	4
4	光	90.89	53	53	0	1	1
	周南西	89.61	54	55	5	1	0
	徳山	95.49	44	48	1	5	1
	徳山セントラル	95.68	24	25	1	2	1
	徳山東	93.74	50	50	0	4	4
	計	93.08	225	231	7	13	7

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初	当月		本年度	
			7/1	末日	内女性	入会	退会
5	岩国	82.93	61	63	0	4	2
	岩国中央	87.15	40	38	3	2	4
	岩国西	83.58	61	61	4	1	1
	柳井	100.00	28	31	3	3	0
	柳井西	97.12	25	26	3	3	2
	計	90.16	215	219	13	13	9
6	広島	99.54	117	125	1	10	2
	広島安芸	96.34	41	43	3	2	0
	広島安佐	91.97	21	22	2	2	1
	広島東	99.70	110	114	8	6	2
	広島北	100.00	96	98	0	3	1
	広島陵北	98.74	52	53	2	1	0
	大竹	85.95	32	32	0	1	1
	計	96.03	469	487	16	25	7
7	広島中央	99.85	77	77	6	1	1
	広島廿日市	92.53	35	36	3	1	0
	広島城南	98.70	45	46	3	2	1
	広島南	100.00	83	87	0	7	3
	広島東南	100.00	99	99	13	6	6
	広島西南	99.76	66	68	4	3	1
	広島西	100.00	83	86	3	4	1
	計	98.69	488	499	32	24	13
8	江田島	90.75	18	18	0	0	0
	東広島	95.14	33	31	2	0	2
	東広島21	79.78	16	17	4	1	0
	呉	93.23	67	68	1	3	2
	呉東	89.82	36	37	1	2	1
	呉南	90.58	61	61	3	0	0
	西条	99.74	37	36	2	2	3
	計	91.29	268	268	13	8	8

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初	当月		本年度	
			7/1	末日	内女性	入会	退会
9	広島空港	79.81	27	29	3	2	0
	因島	94.59	20	20	0	0	0
	三原	88.63	58	60	0	2	0
	尾道	83.26	82	82	2	2	2
	尾道東	87.66	52	58	7	6	0
	瀬戸田	68.57	5	5	1	0	0
	竹原	83.91	32	30	4	2	4
	計	83.78	276	284	17	14	6
10	府中	100.00	26	29	2	3	0
	福山	97.62	81	81	0	4	4
	福山東	87.66	48	48	2	2	2
	福山丸之内	98.04	30	28	1	0	2
	鞆の浦	85.89	24	24	0	0	0
	福山REC2710*	100.00	19	19	3	0	0
	計	94.87	228	229	8	9	8
11	福山赤坂	78.94	52	55	6	4	1
	福山北	95.59	38	40	0	3	1
	福山南	82.82	57	54	1	1	4
	福山西	97.90	41	40	3	0	1
	松永	90.57	53	53	2	2	2
	計	89.16	241	242	12	10	9
12	吉舎	93.33	15	15	0	0	0
	三次	81.19	41	38	0	1	4
	三次中央	96.54	41	41	5	0	0
	庄原	87.52	33	33	4	0	0
	東城	91.14	17	18	1	1	0
	計	89.94	147	145	10	2	4
	第2710地区計	89.99	3262	3346	175	169	85

※正式名称「福山ロータリーEクラブ2710」

尾道人のロータリー精神の発掘

ガバナー月信 編集員(尾道ロータリークラブ) 小西 達郎

2018-19の地区大会では沢山のロータリアンが尾道に集って頂き、尾道の歴史に思いを馳せて下さったのではないかと感謝と共にお礼申し上げる次第です。

本年尾道市では尾道港開港850年を節目に将来の発展の礎を築くべく市民挙げて行事を計画し、3月10日にはJRはトワイライトエクスプレス瑞風停車の尾道駅(尾道RC会員片岡駅長の活躍もあり)の全面改修で見違えるような駅舎が完成し花を添えます。

尾道の発展の歴史は、中世平安時代末期大田荘の年貢米積出港開港後の大陸貿易の拠点として海運業の繁栄。近世江戸時代に北前船の寄港地として、また明治以降の近代には金融、造船業など隆盛期を挙げられるとされています。山陽本線が明治34年には神戸から下関まで全線開通し、平成にはしまなみ海道と尾道道が四国と山陰を結び尾道が海上と陸上の本格的な結節点となりました。

今年度の月信のテーマは“尾道にもロータリー精神があった”ということでスタートした。テーマに沿ってロータリー精神を持った実業家を探してみると尾道市立図書館に所蔵する「芸備彰徳史」に出会えた。寄付など数多くある中に広島県知事 正四位勲二等 寺田祐之から実業功労者についての記事を見つけた。事業の成功と寄付は尾道人に備わった気質のように思える。以下省略しながら抜粋してみる。

「太糸木綿 松右衛門帆と称する帆布製織業の庄兵衛氏の物語である。明治10年創業(1877年)西南戦争(そう西郷ど

んの時代)。庄兵衛氏は創業にして他より職工を雇用し奮闘努力しようやく商家の副業たらしむる地盤をつくりしが、海運業の発展に伴い手織り及び機械織、米利堅模造帆布を製出するものありて、その競合が激しく尾道市著名の一物産のなりたりと雖本場の生産物には及ばざること遠かり……略……明治39年(1906年)手織り帆布から4台を以て機械工場を設立爾後苦心経営数年を経たるもの世に認められず、生産額も思うにらず日露戦争後の不況に相俟って悲惨なる経過をたどるが毫も屈せず……略……明治42年(1909年)完備なる帆布として一般にみとめられるに至る。市価の変動にも耐え品質本位を固守し以後明治45年(1912年)貿易製産品共進会銅賞を受賞、大正3年(1914年)東京大正博覧会に出品し銀賞牌受賞、又南洋スマラン万博博覧会に出品し名誉銀賞益々好評と信用を得たり。生産額3万5千本、価格70余万円に達するに至り本市産業に関する功労最も顕著なり。また公共心に富み地方公共事業にも貢献、明治30年沼隈郡高須村字西新涯の田畑を1反毎に分け高須村32町歩への貯水場設置工事を起こし明治32年に竣工大いに村民に利益を与えたり、明治35年の災害で堤防の崩壊を直ちに補修に加え堅固なる堤防を築設するなど……略……」と有ります。

尾道市にもこのようなロータリー精神と同様の、個人の寄付の実践が有ったことを発掘できた事はとても嬉しく思います。各地区でも同様な発掘ができればロータリーの広報活動にも生きるのではないのでしょうか。

特別コラム



2018-2019 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

新会員紹介



池田 誠一
下関東RC
2019年1月10日
広告代理店業



有吉 寛
下関東RC
2019年1月10日
酒類販売業



林田 信雄
美祿RC
2019年1月8日
石灰石採掘、製造、販売



白石 光徳
小野田RC
2018年12月5日
卸売業



酒井 秀毅
小野田RC
2019年1月9日
税理士



砂川 新平
小野田RC
2019年1月9日
小児科医



脇 幸典
防府RC
2019年1月8日
私立幼稚園



松本 智
山口県央RC
2019年1月29日
地方銀行



桮山 貴彦
岩国RC
2019年1月10日
保険全般【損害保険】



米重 尊雅
岩国RC
2019年2月7日
水産物卸売業



竹内 淳
柳井西RC
2019年2月7日
一般・産業廃棄物
収集運搬業



松村 正大
柳井西RC
2019年2月7日
住宅建設



大賀 嘉章
広島北RC
2019年1月14日
社会保険労務士



坂本 竜二
広島城南RC
2019年1月18日
鉄骨加工



角田 由貴子
広島東南RC
2019年1月7日
紙・樹脂製
パッケージ製造



日下 美穂
呉RC
2018年12月6日
内科医



板本 司
竹原RC
2019年1月17日
ホテル



植田 悦嗣
松永RC
2018年11月18日
解体工事業

謹んで追悼の意を表します



広島RC
故 **松林 清春** 殿

■ロータリー歴
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
米山功労者マルチプル
■職業分類
和菓子製造

2019年1月15日 ご逝去
(享年76歳)



三次RC
故 **荒瀬 秀賢** 殿

■ロータリー歴
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー(2回)
■職業分類
病院

2019年1月11日 ご逝去
(享年72歳)

国際ロータリー
第2710地区 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F
TEL:082-506-0055 FAX:082-263-2323 E-mail:info@ri2710.com URL:http://ri2710.com/